

# 異物誤飲・誤嚥



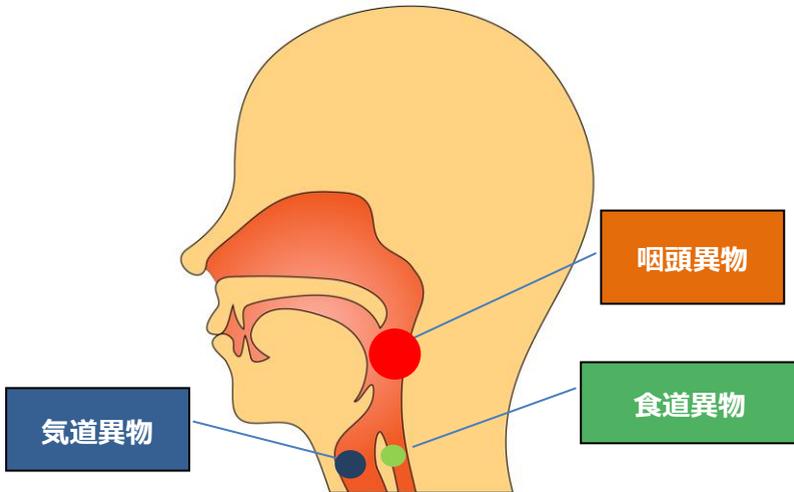
子ども達に「勇気、夢として笑顔」を

**誤飲：食べ物以外のものを誤って口から摂取する事。**

のどに刺さってしまい、摘出が必要な場合⇒**咽頭異物**  
食道に入ってしまった、摘出が必要な場合 ⇒**食道異物**

**誤嚥：食べ物などが誤って気道に入ってしまう状態。**

気道に入ってしまった、摘出が必要な場合⇒**気道異物**



## 咽頭異物

魚の骨がもっともよく知られています。魚を食べている最中に喉が痛くなって痛みが持続する場合に疑います。見える部分であればピンセットなどで取ることができますし、うがいで外れてくることもあります。ごはんなどを丸呑みして飲み込んでしまうと、却って深く刺さることがありますので、避けてください。刺さった部位から感染を引き起こし、頸部膿瘍を起こす場合がありますので、速やかに除去する必要があります。

## 気道異物

気道異物は3歳未満の乳幼児に多く、主な原因はピーナッツ、枝豆やおもちゃの小さな部品です。咳、息苦しさや泣き声がか細くなるなどの症状を生じ、詰まった場所によっては突然息ができなくなることもあります。軽症では、風邪や肺炎と間違われる場合もあります。

異物による窒息が予想される場合、意識がなければ、心肺蘇生を行いながら救急車を呼びます。意識があれば、1歳未満は片腕でうつぶせ状態で体を持ち、手のひらで顎をしっかりと支え、もう一方の手で背中をしっかりと叩きます。1歳以上は立っている子供の背後から両腕をまわし、みぞおちの下に握りこぶしを当て上方へ圧迫します。以下のホームページも参考にしてください。

## 食道異物

食道に異物がひっかかった場合は、痛み、食物や唾液が飲み込めないなどの症状を生じます。何を飲み込んでしまったかによって対応が異なりますので、飲み込んだと思われるときに周囲にあった物や、おもちゃから電池が抜けていないかなどの確認が重要です。特に、ボタン型電池の場合は、電池の放電により食道・胃の壁を損傷する恐れがありますので、速やかに除去する必要があります。また、たばこや薬剤など異物によっては中毒につながる場合があります。吐かせてはいけない液体がありますので、以下のホームページも参考にしてください。

こどもの救急

(ONLINE-QQ) 日本小児科学会

(<http://kodomo-qq.jp/>)

「誤飲」「子どもの事故と対策－窒息」

大阪中毒110番（365日、24時間対応）072-727-2499



# 異物誤飲には普段からの予防が必要です!

子どもは何でも手に触れ、つかんだ物を口に持っていきますので、注意して環境を整える必要があります。

1. たばこや薬など危険なものを  
子どもの手の届くところに置かない。
2. 硬貨など子どもに必要なのないもので遊ばせない。
3. 大きくて壊れにくい安全なおもちゃで遊ばせる。



**トイレトペーパーの芯を通過しない大きさ**  
が目安です。

4. ピーナッツなどの豆類は子どもが  
大きくなるまで食べさせない。
5. 遊びながら食べるなどの  
「ながら食事」をさせない。
6. 異物を口に入れているときに、大きな声などで叱責  
してびっくりさせない。



WANPU

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター <耳鼻咽喉科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605